



病院長就任のご挨拶

東京歯科大学市川総合病院

すが さだ お
病院長 菅 貞郎

1982年慶應義塾大学医学部卒業。米国国立衛生研究所神経疾患脳卒中研究所への留学、脳血管研究所美原記念病院脳神経外科部長、慶應義塾大学医学部脳神経外科専任講師などを経て、2002年に東京歯科大学市川総合病院脳神経外科助教授に。2005年に教授、2010年に副病院長、2022年に経営戦略責任者・病院機能統括部長となり、2025年6月病院長に就任。

日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳卒中学会認定脳卒中専門医・指導医、日本脳卒中の外科学会技術指導医。

出身地 秋田県 趣味 ^{うたい}謡、ドライブ、ゴルフ

座右の銘 「まずやれ。それからやれ」(中学時代の恩師の言葉)

当院の使命

地域医療の中核病院として、
多職種が関わる良質で高度な
全人的医療を提供する

地域に根ざした医療の提供と 強固な地域連携を目指して

このたび2025年6月1日付にて、病院長に就任いたしました菅貞郎です。地域医療に貢献できる機会をいただけたことに感謝するとともに、重責に身の引き締まる思いです。

当院は、1946年に14床の歯科病院として開院して以来、26の標ぼう診療科と9つの専門センターを有する、511床の総合病院へと発展してまいりました。その間、「地域医療支援病院」「地域がん診療連携拠点病院」「一次脳卒中センターコア施設」「地域災害拠点病院」などの認定を受け、一貫して地域医療に貢献してまいりました。

今後、急速に進む高齢化と人口減少社会を見据え、当院はこれまで以上に地域の医療ニーズに的確に応えていく必要があると考えております。

とりわけ、医療需要の高まりが見込まれる、がん・心疾患・脳卒中・運動器疾患に注力するとともに、救急医療や災害医療にも積極的に取り組み、地域の中核病院としての役割を一層強化してまいります。

また、歯科大学附属病院という特性を生かし、口腔がんへの診療科横断的な対応や、入院患者さんへのオーラルケ

アを通じた感染症予防・全身管理にも力を入れ、さらには角膜移植・腎移植などの先進的な移植医療の提供にも継続して取り組んでいく所存です。

今後も、当院が地域社会から求められる病院として担うべき役割を十分に果たすためには、地域の医療機関の方々との連携をより強固なものにしていくことが不可欠だと考えております。皆さまからのご意見やご要望などをお聞かせくださいましたら幸いです。

当院の理念は「愛と科学で済生を」です。これは、思いやりを持って水準の高い医療を提供し、患者さんに真摯に向き合うという私たちの姿勢を表しています。この理念を実現するため、当院では「地域医療の中核病院として、多職種が関わり、良質で高度な全人的医療を提供すること」を使命とし、日々の診療に取り組んでまいります。

院内外の環境を整え、地域社会に必要とされる持続可能な病院として、安定した医療を提供できるよう、今後も尽力してまいります。引き続きご指導のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。